

An aerial photograph of a city, likely in the Kanto region of Japan, showing a dense urban landscape with various buildings, a river, and mountains in the distance. The text is overlaid on the image.

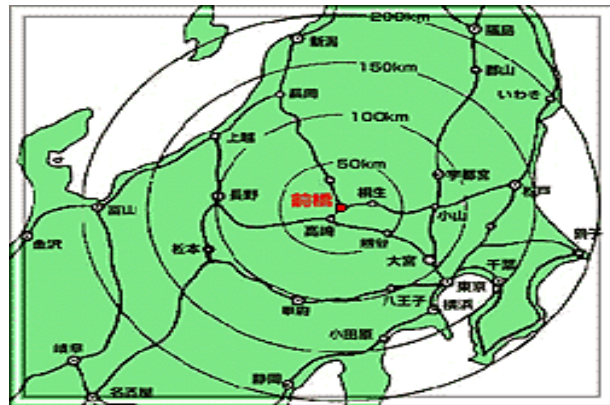
**ICT街づくり推進会議
地域懇談会@関東**

前橋市の取組

説明資料

ICT街づくり推進会議 地域懇談会@関東

平成26年4月18日



前橋市～水と緑と詩のまち～

群馬県都であり、人口34万人を抱える中核市

近代には全国有数の養蚕基地として名を馳せた「絹のまち」

四季折々の美しい風景を舞台に多くの詩人が活躍した「詩のまち」

本州のほぼ中央に位置し、東西南北の道路網が交わる物流拠点

都心から約100kmの近さと自然災害の少なさから「首都機能バックアップ都市」としての潜在性



高度教育機関が集積する教育環境



全国屈指の施設数を誇る医療環境



市の施策における位置づけ

やるぞ！前橋

医療・学術コンベンション

スポーツ・歴史文化・観光

交流拠点・ロジスティクス

災害バックアップ

環境・新エネルギー

ICT・スマートシティ

起業天国ベンチャーヘブン

六次産業化・高付加価値化

第6次前橋市総合計画

地域資源を活かした
活力ある
産業経済都市

「生命都市いきいき前橋」の実現

豊かな心を育む教育・文化都市

快適で暮らしやすい
安全・安心都市恵み豊かな自然と共生する
環境都市元気で楽しい
市民協働都市

個々が光り輝く健康福祉都市

「第3節 情報のひびきあうまちづくりを進めます」

前橋市情報化推進基本方針

ICTマネジメント

進展著しいICTへ対応するための人材育成

情報共有・活用

公開可能な行政情報を市民と共有し、産業を創出

連携・協働

産・管・学の連携により新たな市民サービスの構築

前橋ICTしるくプロジェクト

- 市民ひとりひとりの健康を支える環境づくり
- 「前橋地域力」を基に地域コミュニティ同士の絆づくり
- 子供たちの学び - 地域の歴史や文化、伝統技術等

前橋市の取組概要～前橋ICTするくプロジェクト～

実施団体名	前橋市、NPO法人首都機能バックアップ推進協議会、前橋工科大学、前橋商工会議所、九州大学		
実施地域	群馬県前橋市	実施期間	平成25年9月～平成26年3月
事業概要	社会情報認証基盤と共通IDによるICカードを活用し、前橋マイページ、母子健康ポータル、ICTまちなかキャンパスの3つの事業、サービスを市民に提供する。これにより、前橋市の特性である充実した教育環境と全国有数の医療環境をさらに進化させる。		
実証結果	前橋マイページではサービスを「継続すべき」「改良して継続すべき」「対象を拡大すべき」という評価が93% 母子健康ポータルでは同様の評価が88%、ICTまちなかキャンパスでは1枚のカードで様々なサービスを受けられることについて、無回答を除く70%以上の人が「便利だ」と回答した。		

母子健康ポータル

妊婦さん～小学生までの健康管理情報を サーバ上に一元管理

- 健康診断管理
- 成長記録グラフ
- 予防接種
- 日記機能
- おくすり手帳



ICTまちなかキャンパス

市民講座をICTで管理、発展的活用を

- 講座管理・受講管理
- ウェブ講座
- デジタルアーカイブ
- ポイントシステム



前橋マイページ

市民一人一人に設けられる市民ページ 今回の実証では小学生お持ちのご家庭をモニターに

<基本機能>

- 前橋市からのお知らせ
- アンケート回答機能
- 市政モニター・アンケートなど



<学校関連>

- 行事スケジュール
- 時間割表の閲覧・確認
- 給食情報、アレルギーアラート
- 学級通信・学年通信
- 登下校メールなど

<市民向けツール>

- 駐車場空き情報
- バス位置情報サービス

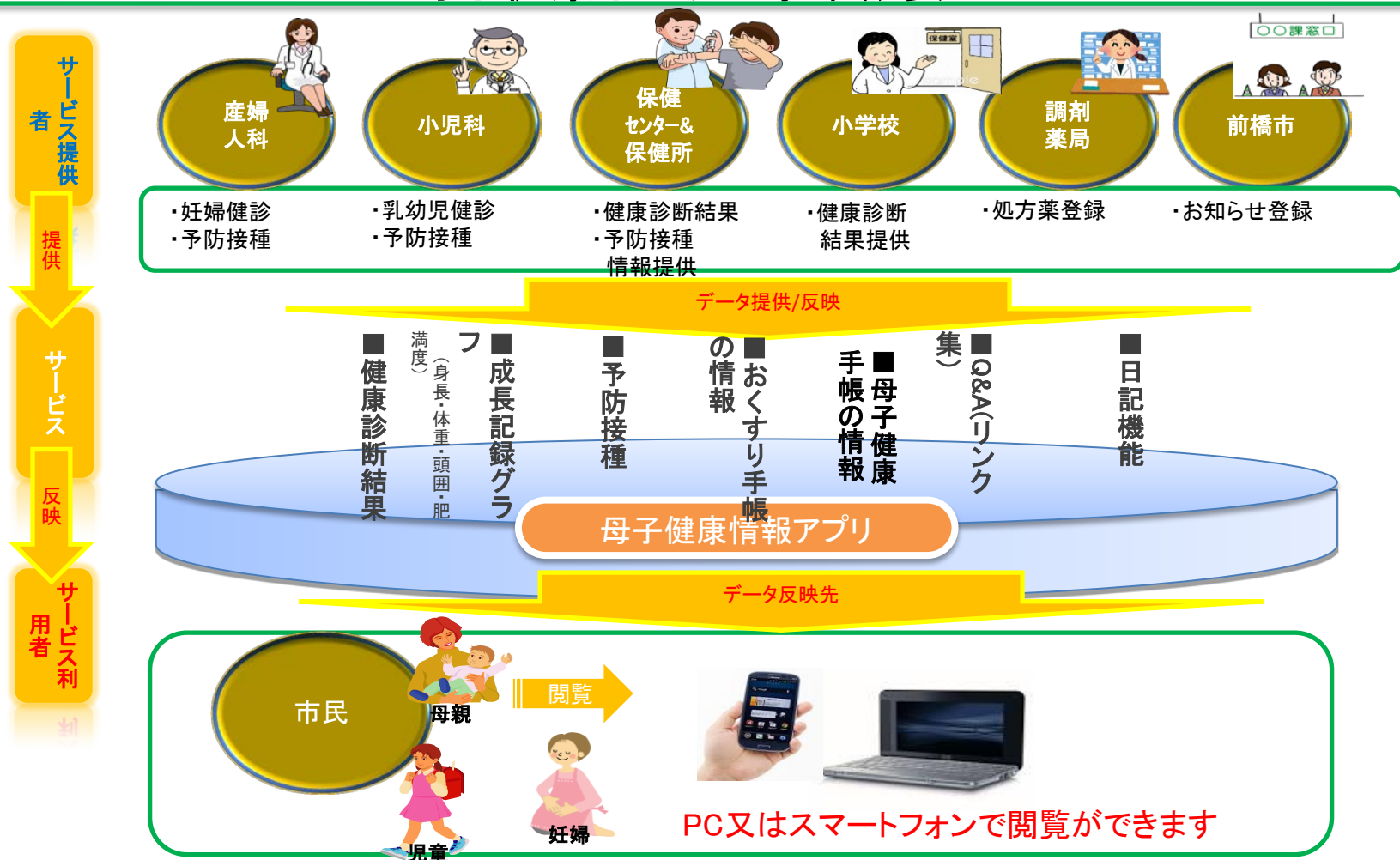


社会情報認証基盤“VRICS”

セクtralモデルを用いたID管理、サービス提供システム



母子健康ポータル事業概要



モニター数
250名

母子健康情報

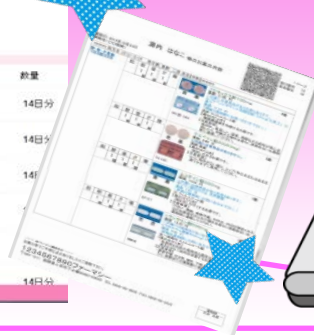
- 健康診断結果
- 電子おくすり手帳
- 日記機能
- 成長記録グラフ
- 予防接種
- 子育てサイトリンク



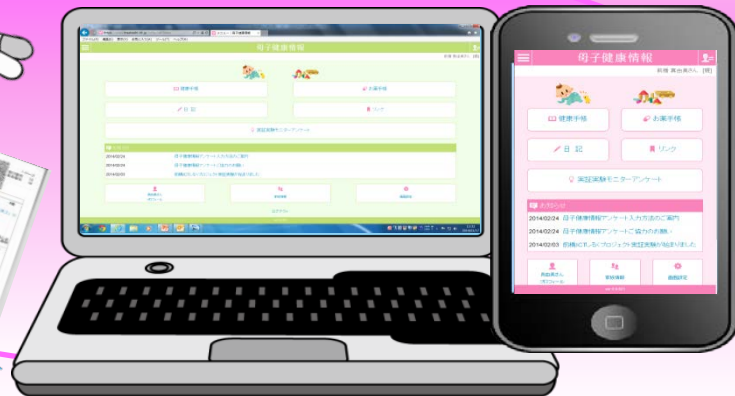
「電子おくすり手帳」
薬品のQRコードを
読み取り登録される

処方詳細

調剤日	2013年12月20日
調剤名	12046670900ファミリー
薬名	
開始日	
お薬名/用途	数量
ジロキシン錠 0.25mg 1日1回 朝食後	14日分
フシックス錠20mg 1日1回 朝食後	14日分
メロキシドン錠5mg 1日1回 朝食後	14日分
ムコダイノ錠400mg 1日3回 毎食後	14日分
ピオスリー配合錠 1日3回 毎食後	14日分
フッゲイロ錠 1日1回 朝食後	14日分



母子健康情報の画面
(閲覧方法:PC又はスマートフォン)



モニター募集から実証実験実施まで

H25年12月、保健センターでパンフ配布やデモをし、募集を行った



■説明スペース全体



■受付待合所(右は受付番号配布机)

H26年2月、保健センターで定期的実施されている「ひよこクラス」にて、アンケートやデモを行い事業の説明を行った



モニター数
115名

学校関連情報

- アレルギー通知
- 登下校メール
- 児童の通学路情報
- 交通事故注意地点情報
- 時間割表の閲覧・確認
- 給食献立表
- 提出物のお知らせ
- 行事スケジュール



「みまもり」 登下校メールの実施

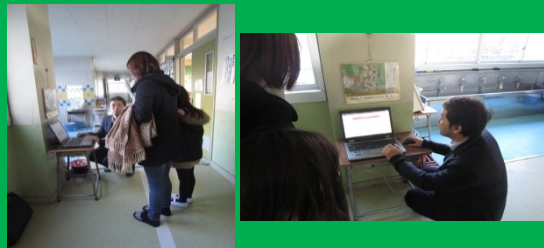


学校関連情報の画面 (閲覧方法:PC又はスマートフォン)



モニター募集から実証実験実施まで

H25年11月、城東小学校で教育相談会時に各クラスの教室前でパンフ配布やデモをし、募集を行った



H25年12月、城東小学校多目的室で、ご協力して頂きたい事項をデモ機も利用し説明を行った



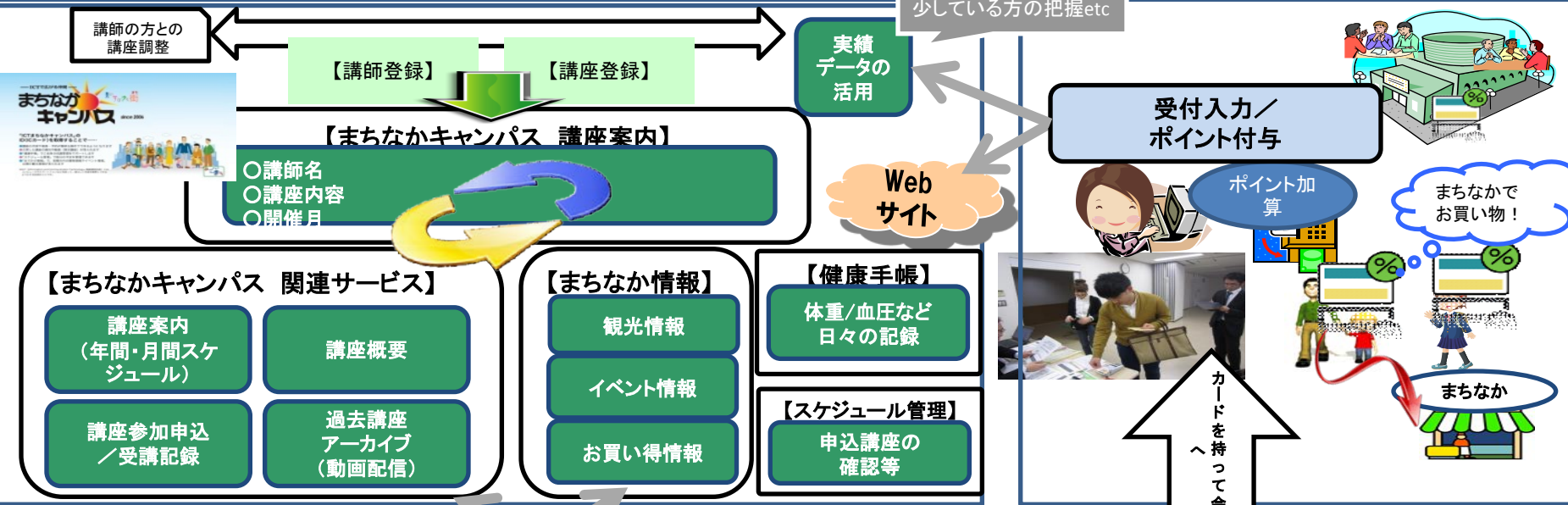
H26年2月、城東小学校で学習参観時に多目的室で、事後のご意見聴取会を行った



概要: 前橋商工会議所と前橋市が取り組んできた「まちなかキャンパス」をICTの利用により、より多くの幅広い年齢層の住民に対して、前橋の文化や産業への理解、学ぶことのよこび、ICTリテラシーなどの理解を深め、世代を超えた地域のつながりの形成を目的に事業を展開。

運営事務局(まちなかキャンパスシステム)

講座会場



受講者

いつでも予約できる!

参加できなかった講座がWebで見れる!

講座の帰りにあのお店に寄ってみよう!

Webサイト





駐車場にて空き情報を発信

駐車場で探して
困ったこと、
ありませんか？

まちなか駐車場の空き情報が簡単に
確認できるようになりました！

— 駐車場空き情報サービスのご案内 —

どんなサービス？

- 前橋市のまちなかに所在する5つの駐車場の空き情報を、お手持ちのパソコン、スマホからインターネットで確認できます。
(無料でご利用いただけます)
※通信費はご負担いただきます


対象の駐車場は？

- ◇市営パーク千代田 ◇市営パーク5番街
- ◇市営パーク城東 ◇市民交流プラザ等駐車場
(元気21北駐車場) ◇前橋中央駐車場

利用するには？

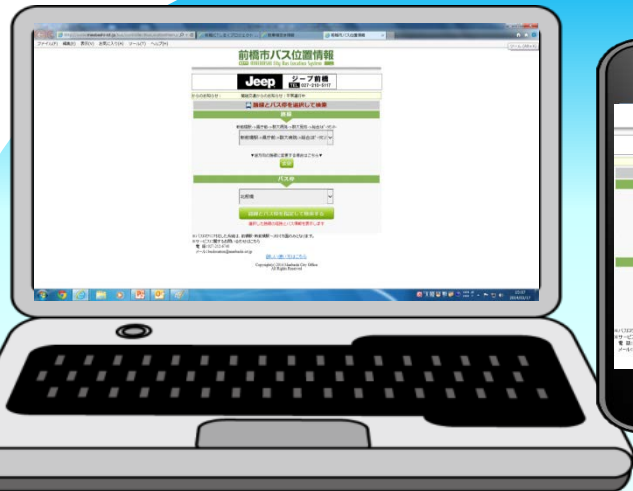
- 以下のURLまたはQRコードからご利用いただけます。

www.maebashi-ict.jp/parking

駐車場空き情報サービスの画面
(閲覧方法:PC又はスマートフォン)

バス位置情報の画面
(閲覧方法:スマートフォンメイン)



対象路線

■ JR前橋駅・新前橋駅と渋川駅方面を結ぶ
関越交通のバス路線

※対象路線の各バス停に貼られているQRコードから
ご利用いただけます



スマートフォンで簡単に
バスの現在位置や運行状況を
確認できます。

新前橋駅/
総合スポーツセンター方面
新前橋駅バス停

※本サービスは前橋市が実証実験として提供しております。

利用方法



ご利用はこちらから

下記URLからご利用
いただけます

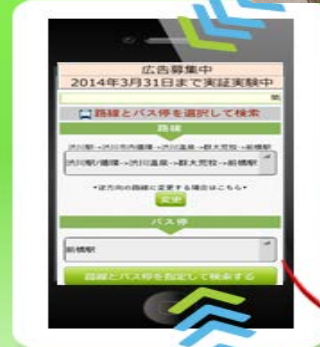
<http://www.maebashi-ict.jp/bus/>



こんなことができます

●バスが今、どこを走行中か地図上で確認したり
各バス停の時刻表を確認できます

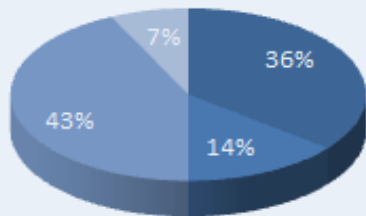
バス停などでバスの
運行状況や
走行位置を確認



学校関連情報

モニター数
115名

約9割の方から改善して継続すべきなどの好意的評価を得た。

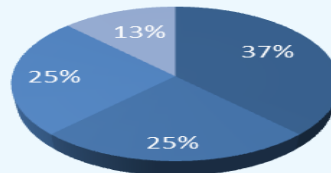


- 継続すべき
- 幼稚園・中学校など普及すべき
- 改善し継続
- 継続しなくてもよい

母子健康情報

モニター数
250名

約8割の方からサービス継続を希望する好意的な評価を得た。

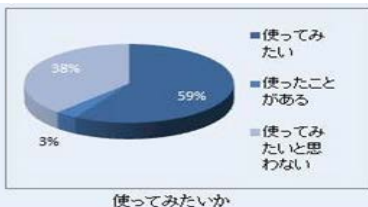
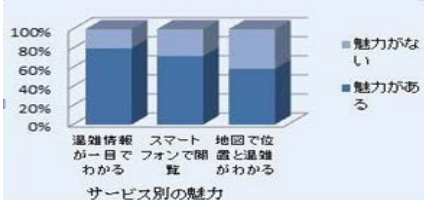


- 継続すべき
- 幼稚園・中学校でも普及させるべき
- 改善し継続する
- 継続しなくてもよい

駐車場空き情報サービス

アンケート数
148名

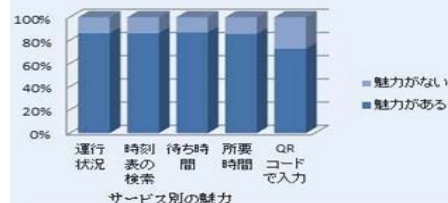
アンケート対象者の6割から好評を得た。



バス位置情報サービス

アンケート数
151名

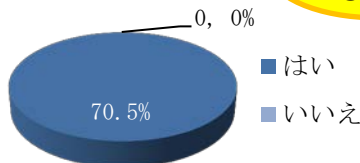
アンケート対象者の7割超から好評を得た。



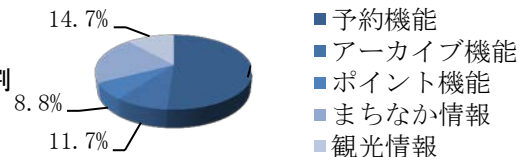
ICTまちなかキャンパス

アンケート数
492名

「一枚のカードで様々なサービスを楽しむのは便利だと思いますか?」というアンケートに関し、無回答を除く70%以上の方がはいと答えました。



「便利だった機能」については「予約機能」が6割を超えた。



母子健康情報

- 保護者からの意見
 - ・ 子どもの成長記録が携帯電話一つで見られるのはすごく便利だと思います。
 - ・ 簡単に育成日記が書き込めるので便利。ただ、後で見返す際には、紙のほうが便利。改善が必要。
 - ・ 子育てのFAQを集めたサイトが便利だった。
 - ・ 夫婦で共有できるので、共働き家庭には急な発病などのお迎えの際に、母子健康手帳を持たずに病院へ行けるので便利。
 - ・ 自分でデータ入力するのは大変。保健センター等での健診結果は、即座に自動でサイトにアップしてほしい。
 - ・ 育児に悩む母親同士が相談し合ったり、情報交換したり、生の声を投稿できる掲示板機能などがあると便利だと思う。また、一人で子育てしている母親も多いので、この掲示板を通して地域のママ友と知り合えるとさらによいと思う。

学校関連情報

- 保護者からの意見
 - ・ プリント紛失の心配がなく安心。
 - ・ 職場で学校行事と仕事の予定あわせに便利。
 - ・ インフルエンザや雪害の学級閉鎖のとき、お知らせが役立った。
 - ・ 登下校メールの感度が不安定なので、改善は必要だが継続させたほうが良いと思う。
 - ・ IT技術者になりたいという子供が結構います。使うだけでなく、たくさんの技術者が前橋から生まれるといいですね。
- 先生からの意見
 - ・ 通常、緊急の連絡は「オレンジメール」、そうでないときは「学級通信」でお知らせをしていたが、例えば急ぎではあるが、オレンジメールは大げさというときに、新たな連絡手段として役立った。
 - ・ 授業の時数管理ができると便利。

1 メディアでの紹介

- (1) 平成25年5月17日 上毛新聞朝刊「ICカード3事業実証 前橋市が国に応募」
- (2) 平成25年5月22日 読売新聞朝刊地方面「スマートタウン 前橋市名乗り」
- (3) 平成25年6月8日 読売新聞朝刊地方面「スマートタウン 前橋で実験」
- (4) 平成25年6月8日 日経新聞朝刊地方面「行政情報、スマホで確認 前橋市が今冬実証実験」
- (5) 平成25年6月8日 上毛新聞朝刊「ICT実証 国の採択決定 前橋市の3事業」
- (6) 平成25年6月8日 東京新聞朝刊地方面「母子手帳や成長記録一元化 前橋市 スマホなどに集約、確認」
- (7) 平成25年6月8日 産経新聞朝刊地方面「健康情報など一元集約 ICT街づくり 前橋市事業採択」
- (8) 平成25年6月8日 毎日新聞朝刊地方面「ICT街づくり 前橋市委託先に」
- (9) 平成25年12月26日 日経新聞朝刊地方面「子供の健康情報 スマホでチェック」
- (10) 平成26年1月3日 上毛新聞朝刊「前橋市ICTプロジェクト 子どもの情報画面で共有 保護者ら対象 実証実験」
- (11) 平成26年1月8日 官庁速報「子どもの情報、スマホで確認＝前橋市」
- (12) 平成26年2月17日 上毛新聞朝刊「ICT活用し前橋市 バス位置情報提供」
- (13) 平成26年2月18日 官庁速報「アレルギーメール＝前橋市」
- (14) 平成26年3月1日 上毛新聞朝刊「データ活用で前橋を活性化 学生らアイデア」
- (15) 平成26年2月24日 FMぐんまあさnavi「バス位置情報サービス」
- (16) 平成26年2月7日 まえばしシティFM(M-WAVE)やる気の木プロジェクト@FM前橋「前橋ICTしるくプロジェクト」
- (17) 平成26年2月28日発行 「内外教育」時事通信社「アレルギーメール」

2 対外発表

(1) 「CARTES 2013」における発表

日時：平成25年11月21日(金)9:40～

場所：仏国 パリ ノール・ビルパトン展示会場

対象：複数のカンファレンステーマがある中で「スマートシティ」の分野での参加者

発表者：政策部参事

内容：カンファレンステーマが幾つかある中で本市では「スマートシティ」の分野でスピーチタイトル「Smart City Solution with NFC based Smartphones & Smart Cards in Maebashi City, Japan」で取り組み状況の発表を行い、世界に向けて“Maebashi City”の発信を行った。

(2) 「群馬県情報化推進協議会」における発表

日時：平成26年2月27日(金)13:30～

場所：群馬県庁29階 会議室

対象：県内市町村の情報政策部門担当およそ30名

発表者：前橋市担当者

内容：県内市町村の担当に向け、ICTを活用した取組の紹介と本プロジェクトにおける連携を呼びかけた。

前橋マイページは、マイナンバー制度におけるマイ・ポータル機能の一部を、教育(小学校)で実現した。結果として、利用者に好評を得た。

(判ったこと)

・教育分野におけるマイ・ポータルの可能性

マイ・ポータル機能は、教育の分野にも有効なツールである。教育に携わる広い分野での応用とそれを支える教育情報基盤の構築等も検討の価値がある。

(本実証実験では、学校と家庭がメインであったが、行政、大学(教員養成)、チューター(補助教員)などを含めた教育関係の情報を共有できる基盤とその利用を想定することができる。)

・有事におけるマイポータルの可能性

実証期間中、インフルエンザの流行、記録的大雪があり、保護者にとって前橋マイページは有効な情報ツールであったことが実証された。マイナンバー制度におけるマイ・ポータルも、災害などの有事において有効なツールとなり得る。**マイ・ポータルの有事における利用**について具体的な利用方法を考えるべきである。

・平時から利用されるサービス提供を

前橋マイページは、保護者が常に利用する情報やアプリケーションがあったため、突発的な出来事においても利用された。マイ・ポータルを有事に利活用するためには、**国民が平時から有効利用するようなアプリケーション**を用意すべきである。

(今回実験できなかったが、今後実証すべきこと)

・共通IDによる学校、行政間連携

今回は、1つの小学校での実証実験であった。進学や転校など、学校が変わった場合の実証を行うことで、児童の情報の管理方法、**学校間の情報のやり取り**、手続き、マイページの利用方法などを具体的に検討して行く必要がある。

(これは、マイナンバー制度における自治体間の住民情報のやり取りにも反映できると考える。)

(情報管理、セキュリティに関する知見)

・共通IDの異なる組織間での利用

今回の実証実験では前橋市が所管する部分と前橋商工会議所の所管する部分があり、それらを共通のIDで管理することにおいて、個人情報の管理責任上のハードルが存在した。実験では、マスターDBの共通IDとは別に個別のID、パスワードを発行することで統一的なサービスを提供したが、将来に向けて広く共通IDの利用を促す際には、技術的なことよりも制度的な部分の整理が必要になると考えられる。

・情報セキュリティと利便性のバランス

番号カードによる官民連携では、JPKI(電子署名、利用者証明)を利用することによって可能であるが、民間利用にあたっては総理大臣の認める民間事業者に限られている。従来の住民基本台帳カードと比較すると大いに利便性は向上するとしても、対象は限定的にならざるを得ないと考える。今回、前橋しくプロジェクトでは、番号カードを用いた官民連携の可能性を実証するに当たり、もっと自由に個人認証を使ったサービスを行える可能性について実証実験を行った。即ち、学校アプリやまちなかキャンパスではJPKIを用いるほどセキュリティレベルは高くないので利便性を重視したものを想定して行った(ID/PWでもよいレベルかもしれないが、ユーザにとってもサービス提供者にとっても使い勝手がよい)。なお、母子健康情報についてはJPKIを使う候補として検討すべきと思われた。

(共通IDのさらなる拡張のために)

・医療に分野における検討

医療というテーマについて、今回しくプロジェクトでは母子健康情報から取り組みを始めたが、今後も、医療、健康分野は大変重要なテーマであり、拡張の余地が大きいと考える。前橋市では前橋市医師会等との連携で、電子お薬手帳、救急時の活用、ガン特区との連携による先進医療連携、メディカルツーリズム、患者の共通ID管理など、今後もさらに広い分野の活用を検討していく予定である。また、広い意味では在宅医療、介護、福祉、という部分とも関連するが、これら情報も共通IDによって一元管理されれば利用者にとっても利便性が高く、管理効率の良いトータルシステムの提案も可能であると考えられる。

・交通、金融分野における検討

ICカードを常時携帯していただくには、交通、金融分野における検討も有効である。交通では共通バスカード、デマンドタクシーなど市民の足に直結する仕組みについて議論が始まった。また、市民目線で考えた際には、カードの仕様等技術的な視点にとらわれず、日本で広く使われているFelicaによるサービスも取り込むような検討もあって良いと考える。また、金融では銀行のキャッシュカードとしての活用、クレジット機能の付加など決済の仕組みを持たせることができるとさらなるカードの価値、あるいはサービスの幅が広がるものと考えられる。

前橋版スマートタウンの将来構想

ICTを活用した学びの場の創造と健康を支える環境づくり

25年度
前橋ICTしるくプロジェクト

取り組み体制

- ◆産・官・学・公・民の協力
- ◆ICTしるくプロジェクト
推進協議会を中心に検討
- ◆地域ICT産業の振興

前橋市の取り組み
ICTを用いた街づくり

進める都市の構想

- ◆医療・学術コンベンション
- ◆スポーツ・歴史文化・観光
- ◆交流拠点・ロジスティクス
- ◆災害バックアップ
- ◆環境・新エネルギー
- ◆ICT・スマートシティ
- ◆起業天国ベンチャーヘブン
- ◆六次産業化・高付加価値化

前橋
マイページ

母子健康ポータル

ICT
まちなか
キャンパス

電子申請

ボランティア
ポイント

災害情報

デマンド
バス

商店街
ポイント

ビッグデータ
オープンデータ
の活用

前橋版スマートタウンの実現

周辺自治体との
連携・協働

マイナンバー
導入を見据えた
制度対応

地域電子マ
ネー

共通
診察券

生涯健康
ポータル

児童
見守り

将来構想の検討

市民の力を集め前橋の将来の
ための政策を構想

- ・市民アンケート
- ・学生参加
- ・職員アンケート